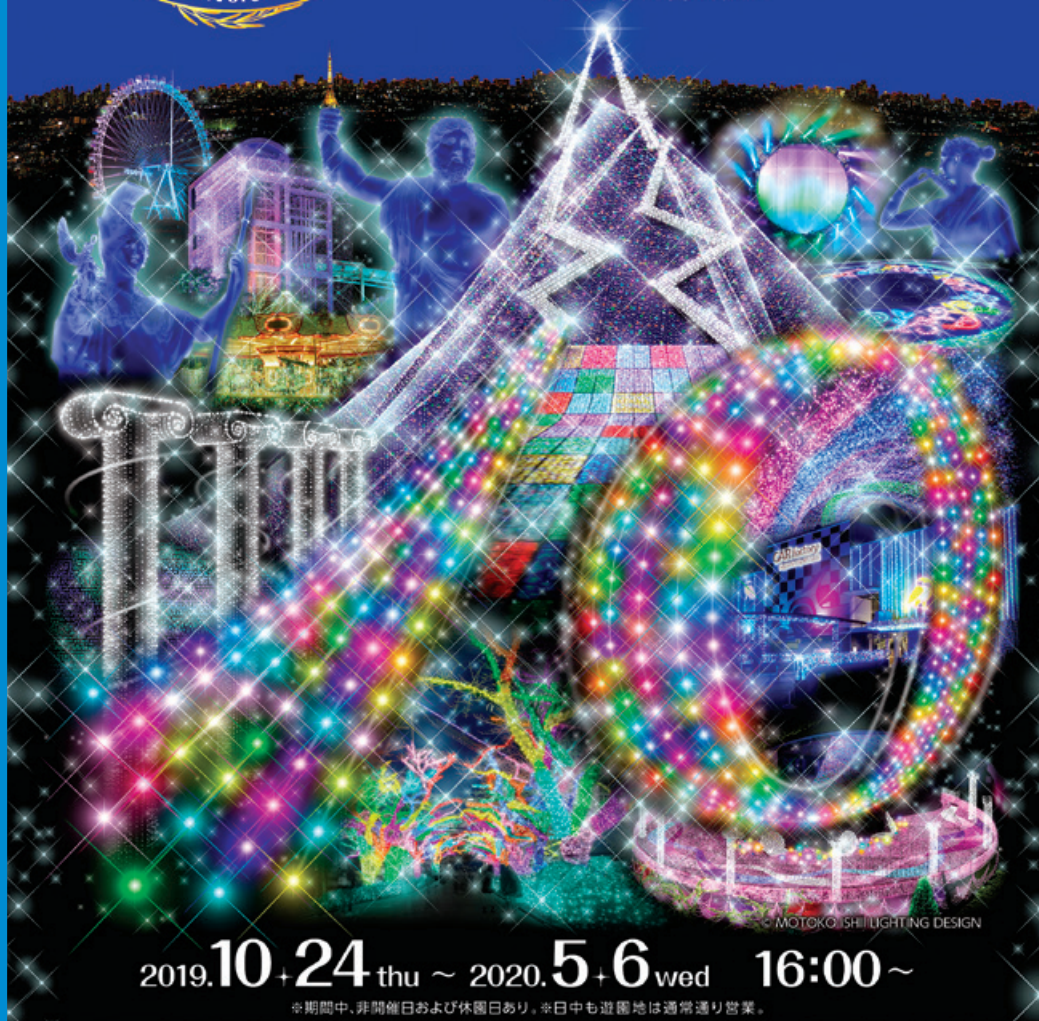


10th
Anniversary!

世界的照明デザイナー 石井幹子プロデュース

Yomiuriland Jewellumination
よみうりランド ジュエルミネーション

～ジュエリー・オリンポス～



2019.10+24 thu ~ 2020.5+6 wed 16:00 ~

※期間中、非開催日および休園日あり。※日中も遊園地は通常通り営業。

第96期中間報告書

2019・04・01▶2019・09・30

株式会社よみうりランド

証券コード9671

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当社グループ第96期第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業の概況を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申しあげます。

2019年12月



代表取締役社長
杉山 美邦

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦による輸出の伸び悩みを背景に、電機、機械、自動車などの製造業の業績が悪化した一方、国内に軸足を置く非製造業は良好な雇用・所得環境に支えられ、堅調に推移しました。当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費については、先行き不透明な景況感に対する消費者マインドの慎重化や7月の天候不順が下押し要因となったものの、改元に伴い10連休となったゴールデンウィークや消費増税前の駆け込み需要の押し上げ効果もあり、緩やかな拡大が持続しました。

このような状況の下、本年9月に創業70周年を迎えた当社グループは、新たなステージへと歩みを進むべく、今後10年にわたる新たな経営の道標となる成長戦略「飛躍」（2019～28年度）を2月に策定しました。遊園地、公営競技の施設提供、ゴルフ場の3大事業のさらなる発展に向け、既存イベントの魅力向上や拡大開催、成長戦略に繋がる積極的な設備投資に取り組み始めたほか、新ブランドスローガン「遊びを、まん中に。」を前面に打ち出し、企業認知度向上に努めてまいりました。

遊園地部門の遊園地は、世界的照明デザイナー石井幹子氏プロデュースのイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」を初めて期間を延長して開催しました。春休みは「夜桜ジュエルミネーション」、ゴールデンウィークは「新緑ジュエルミネーション」と題し、多くのお客様で賑わいました。新元号が発表された4月には、名前に新旧の元号の漢字が入った方を入園無料にする「新元号キャンペーン」、ゴールデンウィークには「全国ご当地&肉グルメ祭」や「超お笑いLIVE 10連発」など話題性のあるイベントを開催し、多数のパブリシティの獲得につながりました。6月には恒例のほたる観賞イベント「ほたる・ねぶたの宵」を開催し、幻想的なほたるの光とともに勇壮華麗な青森ねぶたの灯りをお楽しみいただきました。さらに夏は、グッジョバ!!エリアにおいて、水を掛け合う参加型イベント「ビッジョバ!!」の開催や、お子様向け水遊び場「チビッジョバ!!」を新設したほか、8種のモノづくりが体感できる「夏休みワークショップセレクション」などを開催し、親子三代で楽しめる空間としての魅力向上に努めました。秋には、日本テレビのお天気キャラクターとのコラボレーションイベント「そらフェス in よみうりランド」や、創業日を入園無料などにした「創業70周年ありがとうキャンペーン」を開催し、好評を博しました。以上のように季節ごとに様々なイベントを展開し、集客を図りましたが、長梅雨の影響やお盆期間に雨天日が多かったことなどにより、入園者数は減少しました。

夏のプールWALLは、恒例のダンス放水ショー「ダンスブラッシュ!!!」やスタッフによるシンクロナイズドスイミングに加え、マスコットキャラクター「グッド」のフィギアを使った新企画「ぷかぷかグッドくんレース」が好評を博し、連日賑わいをみせました。7月中旬からは、前年より規模及び期間を拡大してナイトプール営業をおこない、幅広い時間帯でお客様を受け入れた結果、8月は過去最多の入場者数を記録しました。しかしながら、前年に比べ梅雨明けが1か月遅れたことなどが影響し、期間を通じた入場者数は減少しました。

温浴施設「丘の湯」は、桜の開花期間が長く続いたことや「ゴールデンウィークスタンプラリー」の開催、「広島」をテーマにしたご当地イベントが集客の増加に寄与しました。その結果、遊園地からの集客が低調だったものの、入場者数は前年並みとなりま

した。なお、丘の湯プラザの中華レストラン「天安」は、恒例のほたる観賞イベントに関連したディナーイベントを初めてオーダーバイキング形式で実施し、好評を博しました。

温浴施設「季乃彩（ときのいろどり）」は、檜風呂に季節の花やフルーツを浮かべる「彩湯（いろどりゆ）」が引き続き好調で、加えて積極的な広告展開や近隣宿泊施設への営業などにより集客に努めました。その結果、10連休となったゴールデンウィークの反動などがあったものの、入場者数は前年並みとなりました。

ゴルフ練習場「よみうりゴルフガーデン」は、丘の湯周辺や季乃彩、SNSでの告知強化に加え、夏季対策として朝7時からの早朝営業などを実施し、集客に努めました。さらに、ターゲットグリーンへのカップ新設やロビーなどの環境改善をおこなった結果、入場者数は増加しました。

親子向け屋内遊戯施設「キドキドよみうりランド店」は、新元号制定を記念した手形イベントを開催したほか、遊園地と連携して園内やゴンドラでの宣伝を強化しました。

商業施設「グランツリー武蔵小杉」内の「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」は、季節ごとのファミリー向けイベントや5月のテレビ放映が反響を呼びました。

2017年11月にオープンした商業施設「プライムツリー赤池」内の「あそびのせかいプライムツリー赤池店」は、夏向けの人気商品の体験イベントなどを開催しました。しかしながら3店舗とも、天候の影響などにより、入場者数は減少しました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年比1日減となる33日開催されました。6月の重賞「関東オークス」において、前年に記録した売上高の過去最高を更新するなど盛り上がりを見せました。5月には「100円ビールフェス関東 in Kawasaki」、7月には野外映画上映会「ねぶくろシネマ」などのイベントを開催し、引き続き川崎競馬の魅力向上に努めました。なお、JRAの場外発売施設「ウインズ川崎」は、前年同様54日実施されました。

船橋競馬は、前年比5日増となる32日開催されました。5月開催は、6年振りにゴールデンウィークから外れた日程となったものの、インターネット投票の伸長により、ビッグレース「かしわ記念」は売上高の過去最高を更新、1日及び1開催の総レース売上高においても過去最高を更新しました。また、近隣商業施設共催の「おうまフェス」の拡大開催や入場門のリニューアル、ビギナーズカウンターを備えた「ハートビートセンター」の設置で、船橋競馬の魅力向上及びサービス向上を図りました。なお、JRAの場外発売施設「J-PLACE船橋」は、前年比1日減となる26日実施されました。複合型場外発売施設「サテライト船橋・オートレース船橋」での発売は、サテライト船橋が前年比1日増となる183日、オートレース船橋が前年比5日増となる181日それぞれ実施されました。10日連続イベントや人気オートレース選手のトークショーを実施し、ファンサービスの向上に努めました。また、沿線車両内に広告を掲出し、さらなる認知度向上を図りました。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、2017年7月に導入した乗用カート効果により予約は好調に推移するなか、予約枠に余裕がある日に会員の親睦を目的とした「よみうりプロアマ」や「ファミリーダブルススクランブル大会」、創業70周年を記念した自主コンペなどを開催し、さらなる集客を図りました。その結果、入場者数は増加しました。

よみうりゴルフ倶楽部は、定期的な自主コンペの開催や継続的な外部営業で予約の早期確保をするなど集客に努めました。その結果、大型連休の反動や長梅雨の影響などがありましたが、8月以降、予約は好調に推移し、入場者数は前年並みとなりました。なお、今年もほたる観賞イベントと連携し、「ほたる・ねぶたの宵 特別ディナー」をクラブハウスレストランで開催し、好評を博しました。

静岡よみうりカントリークラブは、肉をテーマにした昼食メニューと賞品を集めたオープンコンペや、女性をターゲットにしたレディースゴルフフェスタなどを開催し、集客に努めました。その結果、入場者数は増加しました。

千葉よみうりカントリークラブは、ゴールデンウィークに実施した3段階の特別料金設定が好評を博しました。さらに来場御礼優待券の配布やPGS競技の誘致が集客を後押ししましたが、7月の長梅雨に加え、記録的な暴風雨となった9月の台風の影響で6日間のクローズが発生し、入場者数は減少しました。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は97億1千3百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

また、不動産事業の売上高は5億9千5百万円（同0.3%減）、当社の完全子会社であるよみうりサポートアンドサービスのサポートサービス事業の売上高は、17億8千3百万円（同17.4%増）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は105億4千7百万円（前年同四半期比6.8%増）、営業利益は15億6千1百万円（同56.9%増）、経常利益は17億1千7百万円（同48.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億3千5百万円（同42.0%増）となりました。

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 2019年9月30日現在	前連結会計年度末 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	7,770	8,575
固定資産	57,547	58,845
有形固定資産	47,406	47,158
無形固定資産	62	70
投資その他の資産	10,078	11,616
資産合計	65,317	67,420
負債の部		
流動負債	6,320	6,636
固定負債	30,000	31,659
負債合計	36,320	38,295
純資産の部		
株主資本	26,537	25,595
資本金	6,053	6,053
資本剰余金	4,730	4,730
利益剰余金	18,040	17,097
自己株式	△2,287	△2,285
その他の包括利益累計額	2,458	3,529
その他有価証券評価差額金	2,460	3,531
繰延ヘッジ損益	△1	△2
純資産合計	28,996	29,124
負債純資産合計	65,317	67,420

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日	前第2四半期連結会計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日
売上高	10,547	9,875
売上原価	7,938	7,906
売上総利益	2,608	1,968
販売費及び一般管理費	1,047	973
営業利益	1,561	995
営業外収益	173	180
営業外費用	17	20
経常利益	1,717	1,155
特別利益	0	41
特別損失	76	84
税金等調整前四半期純利益	1,641	1,111
法人税、住民税及び事業税	528	320
法人税等調整額	△22	△8
法人税等合計	506	312
四半期純利益	1,135	799
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,135	799

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日	前第2四半期連結会計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,472	2,331
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,897	△1,319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,291	△1,288
現金及び現金同等物の増減額	283	△276
現金及び現金同等物の期首残高	5,513	5,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,797	5,325

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス | Topics |

当社は1949年に設立され、今年9月に創業70周年を迎えました。

新しいステージに入るにあたり、会社を大きく飛躍させる成長戦略「飛躍」を策定し、よみうりランドは、遊園地、公営競技の施設提供、ゴルフ場の3大事業を基幹ビジネスとして発展させながら、新規事業に積極的に取り組んでいきます。

本年度は、創業70周年事業としてエンタメ植物園のオープンや、「グッジョバ!!」のリニューアルオープンをいたします。さらに進化を続ける「よみうりランド」にどうぞご期待ください。

誰も見たことがないエンタメ植物園

HANA♣BIYORI (はなびより) が2020年3月オープン! (予定)

いろいろな角度から植物に焦点を当てた、これまでにないエンターテインメント型の植物園「HANA♣BIYORI」が遊園地に隣接した場所に2020年3月(予定)にオープンいたします。

毎日花々が咲き誇る約1,500㎡の温室や日本で初めて常設となる「花」と「デジタル」を融合したプロジェクトマッピングショーで幻想的な世界をご覧ください。さらに花の香りや彩りを体感するワークショップ、花に囲まれたカフェや小動物のパフォーマンスなど従来の植物園にエンタメ要素が多数盛り込まれています。他にも日本庭園内に貴重な文化財が並び、春は桜、初夏ははたる観賞など、一年中、四季折々のうつろいを存分に体感することができます。



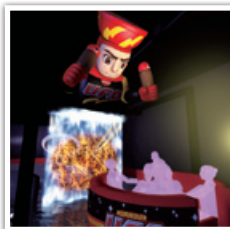
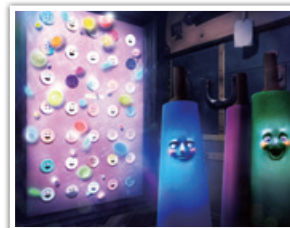
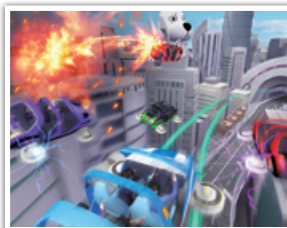
「HANA♣BIYORI」イメージ

モノづくりが体感できる遊園地エリア「グッジョバ!!」がリニューアルオープン! 2020年3月(予定)

2016年3月にオープンした「グッジョバ!!」はアトラクションやワークショップを通じて、生活に密着し、かつ子どもたちに親しみやすい、自動車、食品、ファッション、文具の4業種のモノづくりが体感できる遊園地エリアです。

この「グッジョバ!!」が、プロジェクトマッピングやVRなどの最先端技術を駆使して2020年3月に進化します。

FASHION factory「スピンランウェイ」では、クリエイティブカンパニー“NAKED”が初めてアトラクションの演出を手掛け、日本で初めてジェットコースターに乗りながらご自身のスマートフォンでの撮影が可能になります。CAR factory「カスタムガレージ」とBUNGU factory「キャンパスチャレンジ」では、最先端のエンターテインメントを追求するVR制作集団“ハシラス”とコラボレーションし、最先端VRを導入します。FOOD factory「スプラッシュU.F.O.」では、ケトラーのいたずら演出を拡張し、ドタバタ度がアップします。



「グッジョバ!!」リニューアルイメージ

会社の概要

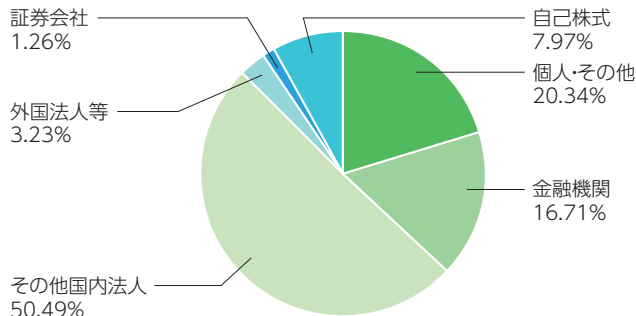
商号 株式会社よみうりランド
 (英文：YOMIURI LAND CO., LTD.)
 本店所在地 東京都稲城市矢野口4015番地1
 設立 1949年9月24日
 資本金 6,053,030,806円
 企業集団の主要な事業内容 総合レジャー事業
 公営競技部門…競馬、オートレース及び競輪の競技場等の施設運営
 ゴルフ部門…ゴルフ場の経営
 遊園地部門…遊園地、ゴルフ練習場、温浴施設、親子向け屋内遊戯施設等の経営
 販売部門…食堂、売店の経営
 不動産事業
 不動産の売買、賃貸
 サポートサービス事業
 建設業、ゴルフ場管理、ビル管理等

役員

代表取締役社長	杉山美邦
専務取締役	小山山興
常務取締役	中村博
常務取締役	小林道高
常務取締役	越村好晃
取締役	浦田和慶
取締役	菊池剛太
取締役	斎藤孝光
取締役	上村志武
社外取締役	加藤 隼
社外取締役	大久保好男
社外取締役	山口寿一
社外取締役	村岡彰敏
常勤監査役	小林利光
社外監査役	濱 邦久
社外監査役	児玉幸治
社外監査役	岡田 明重

発行可能株式総数…………… 29,419,600株
 発行済株式総数…………… 7,686,514株
 (自己株式665,688株を除く)
 当期末株主数…………… 9,770名

所有者別株主比率



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社読売新聞グループ本社	1,250	16.27
日本テレビ放送網株式会社	1,124	14.62
株式会社東京ドーム	582	7.57
三井住友信託銀行株式会社	382	4.97
大成建設株式会社	285	3.71
京王電鉄株式会社	234	3.05
株式会社読売巨人軍	201	2.62
株式会社横浜銀行	163	2.12
オリンピック興業株式会社	127	1.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	123	1.60

(注) 1. 上記以外に当社所有の自己株式665千株があります。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

当社では、権利確定日に株主名簿に記録されている株主様を対象として、株主ご優待を実施しております。

権利確定日	9月30日 (中間)	3月31日 (期末)
発行時期	12月	6月
有効期間	1～6月	7～12月

招待内容

株主ご招待券綴	株主入場パス
1冊の内容	各場共通パス
★遊園地入園 5枚	☆川崎競馬場
★のりものクーポン券引換 1枚 <small>園内で[のりもの4回分]のクーポン券5枚とお引き換えいたします。</small>	☆船橋競馬場
★ゴンドラ乗車 2枚 (10回分)	
★プールWAI入場 5枚 (※期末発行分のみ)	

発行基準

ご所有株数	株主ご招待券綴	株主入場パス
100株以上	1冊	2枚
500株以上	2冊	3枚
1,000株以上	3冊	5枚
5,000株以上	4冊	5枚

※各招待券は休園日等ご利用いただけない日がございます。注意事項と合わせて詳細につきましては、同封の「株主ご招待券贈呈のご案内」をご参照ください。

※プールWAI入場につきましては、期末発行分のみとなります。

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人及び

特別口座の口座管理機関

郵便物送付先

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告の方法

電子公告により行います。なお、以下のホームページアドレスにてご覧いただけます。

<https://www.yomiuriland.co.jp/ir>

ただし、事故その他、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する読売新聞に掲載して行います。

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

- ・「配当金計算書」について
配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。
※株式数比例配分方式を選択されている場合は、お取引の口座管理機関（証券会社）へお問い合わせ下さい。

10周年！今年は過去最大の煌き！！ よみうりランド ジュエルミネーション®～ジュエリー・オリンポス～

遊園地では、「よみうりランド ジュエルミネーション®～ジュエリー・オリンポス～」を2020年5月6日まで開催しております。今年も世界で活躍する照明デザイナー石井幹子氏がプロデュース、世界でよみうりランドでしか見ることのできない宝石色の光を用いたイルミネーションと東京の大夜景が一度に楽しめる、他に類をみないスポットとしてお楽しみいただけます。

10周年となる今回、石井氏が選んだ題材はギリシャ神話の世界。「ジュエリー・オリンポス」をテーマに過去最多の650万球を用い、幻想的な12のエリアが新登場しました。



Topics

株式会社よみうりランド

〒206-8566

東京都稲城市矢野口4015番地1

TEL 044-966-1131 (総務部総務課)



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080



UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

オリンポス・サミット

最高神ゼウスの宮廷をイメージした高さ25mの光の山「オリンポス・サミット」が登場。宝石の中でも一番強い輝きを放つダイヤモンドの光でできた山を宮廷に見立てました。そのスケールの大きさに圧倒される、迫力満点のイルミネーションスポットです。地面にはゼウスが放った稲光のようにジグザグした園路が広がります。また、山の中腹には光のゲレンデ「ジュエリー・ゲレンデ」が広がり、ソリ遊びを楽しむことができます。



日本屈指の大迫力の噴水ショー

毎年大好評の国内屈指の大迫力噴水ショーは今シーズン噴水の本数が昨年比112%、242本に増え、より立体的で迫力がある噴水ショーをお届けします。高さ12mの巨大リングのウォータースクリーンの映像も必見。さらにレーザーと炎の演出を追加し、感動、興奮間違いなしの噴水ショーをお楽しみください。

